

HOME

ひろせ事務所通信 [ほおむ]

VOL27. Winter. 2026. January

ご挨拶



廣瀬修一

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、当事務所は令和八年一月五日をもちまして、

「ひろせ司法書士法人」として法人化したしました。

平成二十二年の開業以来、個人事務所として歩んでまいりましたが、私一人の存在に依存することなく、世代を超えてお客様の人生や財産を守り続けられる「永続的な組織」を築くため、このたび新たな一步を踏み出す決断をいたしました。

これは、組織の未来に対する責任を果たすための、前向きな私なりの「終活」でもあります。

私たちのパーパス（存在意義）は、「人々の人生における不安を安心に変え、一歩前に進む力を与えること」です。

相続や終活といった人生の節目において、お客様が抱く

「見えない不安」を整理し、進むべき「道筋」を示すこと。

そして、単なる手続きの代行にとどまることなく、お客様、世の中、そして私たち自身の「三方よし」の関係を大切にしながら、皆様が「安心」して次の一步を踏み出せるよう支援してまいります。

今後は、メンバー一人ひとりが学び、成長しながら、互いに支え合い、前へ進むチームとして、より一層精進してまいります。

新たな門出にあたり、本年も変わらぬご愛顧を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

共に、前へ。

令和八年一月吉日

ひろせ司法書士法人 廣瀬修一

「未来新聞」

5年後の事務所の在り方を考える

今回法人化に伴い、ひろせ司法書士法人として進むべき方向性を見つけるため、かずみんこと勝矢和美先生の元、「ビジネス未来新聞」研修を受けました。

1日目は、メンバーひとりひとりの背景や価値観を深掘りする「マイストーリーワーク」を実施しました。自身の好きなものや「本当の思い」を共有し合うことで、お互いの人間性への理解を深めることができました。

2日目は、5年後の私たちが新聞の一面に載る姿を想像して、実際に新聞記事を書く「未来新聞」を作成しました。5年後の未来を具体的な活躍や目標に落とし込み、それを言語化することで、仕事への当事者意識を高め、メンバー個人の望みと法人として目指す姿を繋げることが目的です。限られた時間の中で作成するのには苦労しましたが、なんとか全員で完成させることができました。

2日間の研修で仲間の多様な価値観に触れ、組織としての絆がより深まったと感じました。また、法人として進むべき方向性を共有できたので、ここをゴールとするのではなく、新たなスタートとして全員で成長していきたいと思います。（大西萌子）



「5年後の私たち」



この度、法人化という大きな節目を迎え、スタッフ一同、気持ちを新たにしています。

皆様のお役に立てる存在であるために。

スタッフそれぞれの思い描く「5年後の自分のありたい姿」をごあいさつに代えて紹介させていただきます。



2031年、「任せて安心」と感じてもらえる人でいたいと考えています。

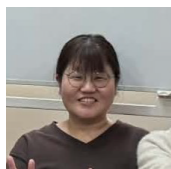
共感力を大切にし、安心して話せる聞き役として信頼される存在を目指します。

またAIを活用しながら日々の業務に小さな工夫を重ね、データ整理や管理もスムーズになり、時間に余裕が生まれるようにしていきます。

プライベートでは愛犬とキャンピングカーで旅を楽しみたい。

明日は今日より少し違う自分へ。

気づけば、自分で考えて動ける場面が増え、「いてくれてよかった」と思ってもらえる存在でありたいと思います。(大西由香利)



新しい体制となった事務所とともに、私自身も日々を大切に過ごしていきたいと思っています。

まずは健康第一で、歩くことから無理なく体を動かし、少しずつ体調を整えていくのが目標です。また、AFP資格の取得を目指して相続の知識を深め、より安心してご相談いただける存在になれば嬉しいです。

いろいろと目標を挙げましたが、どれも無理せず、一つずつチャレンジしていきたいと思っています。

5年後には、いつの間にか孫から「おばあちゃん」と呼ばれるようになっているかもしれません。(橋本江利子)



司法書士に再登録して、社会の役に立てていますように。

今年は、1つ1つの案件に真摯に向き合い、問題をいろんな角度から考えるようにして、自分の勉強時間も確保したいです。

また、メンバーが気持ちよく働ける職場を目指して、コミュニケーションを大切にしながらより良く進化できるようサポートしていきたいです。

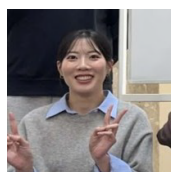
家庭においては、心の余裕を持ちたいです。

そして、子どものやる気を引き出す言葉掛けができるように、母としても成長していますように。(廣瀬真弓)



司法書士になって2年半が経過しましたが、知識、経験、人間性、まだまだ足りないことばかりだと感じます。5年は長いようで短い期間。

全部は難しいかもしれませんが、目の前の課題にしっかり向き合い、少しでも多くの人から頼られる司法書士でありたいと思います。(豊島大智)



5年後の私は、学びを止めず、資格取得を通じて着実にスキルアップしている自分でありたいと思っています。

知識を増やすことは選択肢を増やし、自信につながるので、

大好きな大谷翔平の言葉「現状維持は後退する事と同じ」を胸に、今の自分に満足することなく、常に新しい自分を目指し続けたいと思います。(大西萌子)

不動産登記 相続 遺言 家族信託 会社設立



ひろせ司法書士事務所

HIROSE JUDICIAL SCRIVENER OFFICE

〒760-0080

香川県高松市木太町 1288 番地 2

☎087-813-9913 ☎087-813-9923

✉info@officehirose.com



ホームページ

officehirose.com